

わがまちの
「ちよつといい話」

NO. 8

「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○ やりきれるか？

前号で「つき美・みどり会」の清掃の取り組みを紹介しました。この取り組みは、二年ほど前に次のような経緯で始まりました。秋になり、落ち葉があ

たりを舞い、墓地でも地域でも困っていました。これを地域でできないかという話もちあがった。しかし、「つき美・みどり会」でやるとなると責任をもたなくてはならずやりきれるかどうか心配であった。かといって、自分たちの地域でもあり、きれいにしたい。町の施設としての墓地を訪れる方々にも気持ちよく来てもらえる場にしたいという思いもあった。

○ 地域の一人として！

みんなの思いを大切にし、みんなが無理なく取り組めるよう、町にも支援

みんなが 少しずつ
力を出し合う中で 継続！



をお願いし、話し合いや調整を重ねた結果、全員の総意を得て活動することに決めたのです。地域に生きる誰もが、町の一人として自分にできることで地域を支えようと考えられたのです。

○ 一人ひとりの意思を

「つき美・みどり会」では決して無理をしないと会長さんはおっしゃる。みんなの集まりやすい日を選んで日にちを決め全員に知らせる。全員が参加できるとは限らない。都合が悪ければ、次回にと一人ひとりが判断される。出られないか

らと言つてとがめる人はいない。むしろ、どうしたのかと心配する。自分のことだけでなく、他人のことにも気を配り、気遣いながら町の一人として地域のために精一杯力を出し合つて取り

組んでおられる。

○ 人と人とのつながりを育む！

みんなで力を出し合つて取り組むと、大量の落ち葉を取り除くことができる。きれいになる。大きな仕事を成し遂げる充実感がある。それだけではない。顔を合わせれば言葉を交わし、健康を確かめ合い、情報交流もできる。共に作業することで共有できる空間と時間が生まれ、人と人との心のつながりが深まる。



一人ひとりのペースを大切に（緑町）